

シーニックバイウエイルート提案の応募結果

1. 概要

シーニックバイウエイ北海道推進協議会では、これまでにシーニックバイウエイルートとして13ルートを指定、候補ルートとして1ルートを登録しています。

新たに「空知シーニックバイウエイ―体感未来道―」の1ルートについて提案がありました。

2. 提案のあったルート

○シーニックバイウエイ候補ルート（1ルート）

ルート名称	代表者名	代表者の所属	構成 団体数	関係市 町村数
空知シーニックバイウエイ ―体感未来道―	くどう かつひこ 工藤 克彦	NPO 法人 日本一直線道まちづくり研究会	15	24

ルート審査委員会の審査結果

(1) シーニックバイウェイ候補ルート

空知シーニックバイウェイ―体感未来道―

表1-1 【審査結果】

視 点 委 員	優れた景観資源の有無および 地域資源の優位性について					景観及び地域資源について	推 薦 可 否
	景観	自然	文化	歴史	レク		
A	○	-	○	-	○	①自然景観や農業景観をベースにした、さまざまツーリズムの拠点と拠点的活動が広大なルート内に点在し、いかに連携・共働して、全国・世界（特にアジア）に通用しうる地域価値を共創するかが重要。 ②グローバルに評価されつつある、アートや食と地域経済活動と結びつける、今日的なルート目標と運営を期待。	○
B	○	○	○	○	-	①雄大な石狩川、一直線に伸びた国道12号線・農業景観・炭鉱遺跡など空知の歴史を物語る景観資源は豊富であり、独特の価値を有する。 ②様々な産業（石炭、農業）の栄枯衰退が織り成す歴史と施設配置が魅力的である。	○
C	○	○	○	○	-	①北海道各地の景観資源や自然資源は何処をとっても日本の他の国内地域、アジアの観光地と比べ、ユニークで旅情を誘発するに十分な優位性のあるものである。	○
D	○	-	-	○	○	①様々な資源に触れ合う機会があり、景観も画一的でなく、訪れる人を楽しませる要素が多く含まれている。 ②歴史資源（炭鉱歴史）は当該ルート特有のものであり、後世に残していくべき産業遺産である。 ③ワイナリーや農業との連携を活かした食、農業体験など様々なレクリエーションは体験型観光空間づくりには欠かせない要素である。また、最近注目されているサイクリングで各地を巡り、景観を楽しむには適している。	○
E	○	-	○	-	-	①景観について、ポテンシャルとしては高いものがある。	○

表1-2 【付帯意見】

- ・サブエリアの集合体としてのルート活動を期待。
- ・過去の経緯を引きずらない連携活動を期待
- ・24にのぼる自治体との連携・協働というチャレンジングな目標に期待。
- ・町内会、子どもたち、教育機関の活動がキー。さらには、若者や技術者集団のシーニック活動への参画を期待。
- ・テーマや戦略ごとの専門推進体制の充実が必要。
- ・ルート認定が最終目標ではなく、継続的な努力を続けることを期待。
- ・行政との更なる関係性の深掘りを期待。
- ・関係者で議論を進め、シーニックバイウェイルートとしての理念や目標を定め、各地・各種の人や資源をどのようにマネジメントして、目標に向けて活動していくかを、もう少し明らかにすることが必要。

平成30年11月5日
シーニックバイウェイ北海道推進協議会

シーニックバイウェイ候補ルートの登録について

○シーニックバイウェイ北海道推進の基本方針に基づき、シーニックバイウェイ北海道実施要綱第18条第一項及び第二項の規定により、次のとおりシーニックバイウェイ候補ルートの登録を行う。

ル ー ト 名：空知シーニックバイウェイ一体感未来道一

関係市町村：夕張市、岩見沢市、美唄市、芦別市、赤平市、三笠市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、南幌町、奈井江町、上砂川町、由仁町、長沼町、栗山町、月形町、浦臼町、新十津川町、妹背牛町、秩父別町、雨竜町、北竜町、沼田町（24市町村）

提 案 者：空知シーニックバイウェイルート運営代表者会議

なお、上記登録を行うにあたって、別紙の通り意見を付記する。

シーニックバイウェイ北海道推進協議会 意見（案）

■シーニックバイウェイ候補ルート

◆候補ルート全体に対する意見

ルート活動に参加するあらゆる団体・個人が、シーニックバイウェイについての理解を深め、ルートとしての理念・目標・活動指針の明確化とその共有化に向け、引き続き取り組むこと。また、その目標に向け各地・各種の人や地域資源のマネジメント方針を明確化し、引き続き取り組むこと。

あわせて、運営体制の強化、人材発掘・育成、地域資源の発掘・活用などの方策、ルート活動団体を中心としながら地域住民、各種団体、行政、地域産業なども含めた幅広い連携・協働のあり方の検討、それらを活用した取組を推進していくことが重要である。

◆空知シーニックバイウェイ—体感未来道—に対する意見

雄大な石狩川、一直線に伸びた国道12号線・農業景観・炭鉱遺跡など空知の歴史を物語る景観資源は豊富であり、独特の価値を有し、優位性のあるものである。

10市14町という広大なエリアでの連携性を保つため、自治体との関係性を築き、また、サブエリアの集合体として共通の活動理念や目標をもち、連携しあうような連携を進め、ルート活動を推進していく体制を築くことが必要。

また、「町内会」、「こどもたち」、「教育機関」など地域の多様な主体との連携や、さらには若者や技術者集団の参画を期待し、テーマや戦略ごとの専門推進体制を充実させていくことが重要である。